



沖縄県宗務特別区
(下間要信教務所長、
沖縄県那覇市)は12月
4日、「太平洋戦争全
戦没者・沖縄戦終戦70
年追悼法要」を糸満市
の国立沖縄戦没者墓苑
で営んだ。

会場となった平和の
丘式典広場は、6月23
日の「沖縄慰霊の日」
の式典以外で法要が行
われることは珍しい
(写真)。戦争末期の
地上戦で20万人の命が
奪われ、今も米軍基地

国立沖縄戦没者墓苑

沖縄戦終戦70年で追悼法要

問題を抱える沖縄。法はならない。その方々
要には、九州各教区やに思いを馳せ、平和で
安芸、兵庫、滋賀教区 安穏な社会の実現を目
からの団体、宗会議員 指す決意を新たにし、
などが参拝し、平和へ その歩みを進めたい」
の思いを新たにした。 と話した。下間所長は
石上智康総長や竹田空 「この沖縄で起きたこ
尊宗会議長をはじめ、 とを振り返り、今、何
参拝者全員が犠牲者を が起きているのか再確
悼んで焼香し、2度と 認し、仏教徒として平
戦争が繰り返されるこ 和な社会を築くために
とがない世の中を築く 何ができるかを考えて
ことを誓った。 いきたい」と挨拶した。

大分市・長光寺前住 法要後、フリーライ
職の大在淳空さん(81) ターの屋良朝博さん
は「終戦の時は国民学 と、本願寺派総合研究
校の5年生。私も軍国 所の丘山願海所長が記
少年で、今振り返れば 念講演した。

恐ろしい時代を生きて
きた。私にできること
は2度と戦争を起かさ
せないように努めるこ
と。多くの人に平和の
大切さと戦争の悲惨さ
を伝える思いを新たに
した」と語った。

前日の3日には宜野
湾市の沖縄コンベンシ
ョンセンターで法要を
営み、石上総長は「争
いによって多くの尊い
命が失われてきた歴史
を、決して無駄にして